



3月25日(水)第72回卒業証書授与式

3月2日より新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休業となり、当初の予定から約3週間遅れの卒業式となりました。感染防止のため、本大学からの来賓、卒業生と職員のみでの実施となりました。教育学部の八坂剛史副学部長から御臨席いただき、卒業生に向けてはなむけの言葉をいただきました。卒業生は皆、堂々と式に臨み、一人一人校長先生からしっかりと卒業証書を授与されました。式の最後には、卒業合唱「春に」のすばらしい歌声を響かせてくれ、体育館が感動でつつまれました。これまで支えてくださった保護者の皆様への感謝の気持ちが表された心温まる式となりました。



副学部長告辞



卒業証書授与



校長式辞

卒業生代表「旅立ちの決意」



卒業合唱「春に」



以下、当日の式辞を紹介します。

式辞

校長 柳沢 学

「例年になく雪の少ない冬でした」3月3日の卒業式で話そうとしていた式辞の書き出しです。この言葉を考えていたのは、2月の中旬くらいのことでした。その時、卒業式がまさかこのような形で行われるようになるうとは、誰が予想できたでしょうか。第72回を迎える附属長岡中学校の卒業式の歴史の中で、卒業式の延期や参加者の縮小が行われたのは初めてのことです。今日は保護者の皆さんも在校生もいない中での卒業式です。ただお一人、ご来賓として新潟大学教育学部から八坂剛史副学部長においでいただいています。ご出席いただき、誠にありがとうございます。

まさに今のこの状況が示すように、現代は次に何が起るかの予想がまったくつかない社会になってきています。そして、起こったことに対しての対応策や答えを見つけることもどんどん難しくなってきますし、すべての人にとっての正解が見つげにくくなっていきます。このようなときに私たちは、ベストの答えではなくても多くの人に賛同を得られる答え、「納得解」を求めたり、解決しなければならない課題が複数あるときに、どの課題にもある程度の解決策が図られるようにした答え、「最適解」を求めたりすること、さらにそれらを求め続けることも重要になっています。この納得解や最適解という言葉は皆さんも聞いたことがあるのではないのでしょうか。私たち附属長岡中学校で取り組んでいる「いのち」の学習こそが、この納得解や最適解を求め続ける活動に他ならないのです。

三年間、いのちの学習に取り組んできた皆さんが、今の状況の中でも冷静に物事を見つめ、いたずらに動揺したり、感情的になったりすることなく、さらにはこれから皆さんが歩み出すそれぞれの進路の中でも常に、納得解や最適解を求め続けることを願っています。

さて、皆さんは、すぐには解決できそうもない問題に直面したとき、どうやって解決への一歩を踏み出しますか。私は、解決できそうもないことならに出会ったとき、どうせ何をやっても無駄だとすぐにあきらめるのではなく、できそうなアイデアをひとつだけ考えます。次にそのアイデアを誰かに相談します。そうすると多くの場合、相談した人からはアイデアへの改善策がもらえます。改善されたアイデアには説得力が増します。説得力が増したアイデアは、だんだんと多くの人の賛同を得ます。賛同を得たアイデアは実行することができます。実行して成功するか失敗するかは分かりません。けれども実行できたと言うことが次への自信につながります。最初の困難に出会ったときに、「どうせ無理だ」と考えるか「何かやってみよう」と思うかには、大きな違いがあると私は思っています。だから私は、どんなときでも「心」だけは前向きでいようと思っています。こう考えるようになったのは、ある人の言葉がきっかけです。それは、石川県の星陵高校野球部の監督を長年勤められた山下智茂さんの言葉です。

「心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる」運命が変わるなんて大げさだと思いかもかもしれません。でも皆さんの人生のストーリーは決まっています。どんなストーリーになるかを決めるのは、皆さん自身の「心」です。

「心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる」この言葉を皆さんに贈ります。

保護者の皆様、本日は、お子様が義務教育を巣立つ晴れの姿を間近でご覧になりたかったに違いありません。そのような中、保護者の皆様からは、お子様の在学中、常に学校の取組に対し、たくさんのご協力や励ましの言葉をいただいたおかげで、教育活動を円滑に進めることができました。素心会の蕪澤会長はじめ、学年部、専門委員会の役員の皆様、すべての保護者にこの場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今、子供たちは、卒業証書を手にとりそれぞれの道に踏み出そうとしています。今後も、お子様の成長を優しく、時には厳しく見守っていただくようお願いいたします。私たち教職員も子供達一人ひとりが持てる力を最大限に発揮して成長できるよう願い続けます。

卒業生の皆さん、今日は、私たちの誰もが経験したことがない特別な卒業式です。

この特別な卒業式を経験した皆さんだからこそ、今日が、皆さんにとってこれからの人生を力強く歩み出す第一歩となることを心から祈っています。ご卒業、誠にありがとうございます。